

登録コード	E8164400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究				担当教員	金子 史彦	
英文授業名	Graduation Study				副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	英語文学を学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・英語文学研究においてみずから問題を見出し、すじみちを立てて解決できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学生が主体的に研究を進め、教員はヒントを与えたりして手助けしたりして進めます。						
(5)授業計画	第 1 回：文学研究とは 第 2 回：先行研究に学ぶ 第 3 回：精神分析批評 第 4 回：新批評 第 5 回：構造主義 第 6 回：脱構築 第 7 回：読者反応論 第 8 回：題材の選定 第 9 回：方法の選定 第10回：章立ての方法 第11回：イントロダクションの書き方 第12回：引用の方法 第13回：校正 第14回：研究発表 最後の 1 5 分間で授業アンケートを実施する 教育実習による欠席分については補講を行う。						
(6)成績評価の方法	論文を書いていく過程及び完成した論文を見て判定する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i)その題材を選んだ理由がよく説明できており、(ii)テーマ選びが適切であり、(iii)そのテーマを選んだ理由がよく説明できており、(iv)テーマにそった分析がよく出来ており (v) 論文全体が上手く構成されており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」						
(8)事前事後学習の内容	自ら課題を見つけていくことが大切である。						
(9)履修上の注意	対面授業。 自ら積極的に取り組むことが大切である。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	N229, 内線4193, E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp, オフィスアワー予約で対応。						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	指定しない						